

令和7年度
芦北町立
佐敷小学校



重点目標
「佐小の伝統の上に学びを楽しみ、自らの未来に向けて考動するさしきっ子」
育てたい力：共感力 探究力 協働力

佐小だより

7月号
7月16日発行
文責：徳成



交通事故



水の事故



けがなど



病気など

夏休み、絶対に守って欲しいこと

「命」を守ること！！

いよいよ夏休みに入ります。子供たちにとって、自由になる時間が増え、どうしても気が緩んでしまう夏休みです。学校からは、夏休みの宿題を出しています。また、夏休みに気をつけて欲しいことなど、しっかり伝えています。しかし、子供たちの心に届いているのか？ 少し不安なところもあります。

せっかくの夏休みです。いろいろな体験をして、たくさんの思い出をつくり、楽しい夏休みにして欲しいと思っています。

7月18日の終業式では、校長から「命を守ること」について話をします。

宿題をすることも大事、家の手伝いをする 것도大事、いろいろな体験をすることも大事です。しかし、何よりも大事なことは「命を守ること」です。もしかしたら、子供たちにとっては、あまりピンとこない話かもしれませんが、全国では毎年、夏休み期間中に何らかの事故などで命を落としてしまう子供がいます。命を守るためにどのようなところに危険が隠れているのかを予測できる力を子供たちに、しっかりつけて欲しいと思います。

では、どんな危険が予想されるのか。終業式では、大きく上の4つの危険について、以下のような具体的な場面について話す予定にしています。

交通事故：・飛び出し・自転車事故・車が突然突っ込んでくる・踏切事故・車に乗車中……

水の事故：・プールで・川の近くで遊んでいるとき・海水浴中……

けがなど：・遊具で遊んでいて(落下など)・家の窓から・雷……

病気など：・熱中症・インフルエンザ・新型コロナウイルス・様々な感染症……

他にもいろいろな危険が予測されます。子供たちが、「これ、危ないから気をつけよう」と予測して、安全に生活してくれたらと思います。ご家庭でも、ぜひ話題にさせていただき、子供たちの危険予測能力を高めていただけたらと思います。よろしくお願いします。

人 権 宣 言

○にこにこ えがおあふれるいちねんせい
○みんななかよく たすけあういちねんせい

6月は、「心のきずなを深める月間」でした。子供たちが安心して生活することができるように、学校でも様々な取組を行いました。その中の一つに「人権集会」があります。

人権集会では、各学級で行った人権学習を基にしてつくった「人権宣言」を学級ごとに発表しました。上記は、1年生の人権宣言です。こんな学級になると、みんなが毎日楽しく学校に来ることができると思います。他の学級でも、子供たちがみんなで話し合っ、人権宣言をつくりました。

せっかく作った人権宣言ですので、「作って終わり」ではなく、常に意識して毎日の生活を送ることで、みんなが安心して、楽しく生活できる佐敷小学校になっていくのだと思います。

公開授業(研究授業)を行いました

子供たちの頑張りに負けないように、職員も6月から7月にかけて公開授業(研究授業)に取り組みました。下の写真がその時の様子です。

①鬼塚先生:6年1組 国語科 「人物同士の関係について話し合おう『風切るつばさ』」

②津留先生:2年1組 国語科 「二つの文しょうをくらべよう
『どうぶつ園のかんばんとガイドブック』」

③柳瀬先生:3年2組 特別活動 「議題『お楽しみ会のけいかくをしよう』」

④福田先生:6年1組 外国語科 「Lesson2 『Welcome to Japan.』」

どの授業でも、子供たちが一生懸命学ぶ姿、楽しそうに考え、活動する姿が見られ、佐敷小学校の子供たちの素晴らしさを改めて感じました。

